



教育委員会では6月市議会に「学校の設置に関する条例」の改正案を提出しました。学校再編は市議会の議決を経て、正式に決定となります。それと並行して、再編具体化委員会では、子供たちや保護者の皆さんが安心して新しい学校生活をスタートできるよう、さまざまな教育環境整備に取り組んでいます。

標準服等のアンケートへのご協力、ありがとうございました

4月に実施しました標準服等に関するアンケートに、児童生徒、保護者の皆様からたくさんのご回答をいただきました。結果の詳細は、市公式ホームページからご覧いただけます。6月の全体会ではいただいたご意見を踏まえ、標準服の基本方針と制服メーカーの選考方法について協議しました。アンケート全体を通して見られた主な傾向と合わせて、検討の状況をお知らせします。

標準服（制服）について

標準服の導入時期は令和10年4月の導入を目指します

移行期間として13年度までは現行制服の着用もできます。それ以降は再編中学校の状況に応じて期間延長を判断していきます。

標準服の構成 下記のアンケート結果を踏まえて検討しています。

- 上着：ブレザー
- ボトムス：スラックス、スカート等（夏冬用）
- ※ 上着の下に着用するシャツ類については、費用面での柔軟性を重視し、指定品を設けない方向で検討を進めています。
- ※ 学校ごとの識別要素として、ネクタイ・リボンの着用を検討中です。

アンケート結果の傾向

- ・ 冬服の上着タイプは、男女ともにブレザーへの支持が最多でした。
- ・ 夏服の上着タイプは、子供たちは「自由化」を望む声が多かった一方、保護者の皆さんはポロシャツを希望する声が多く聞かれました。
- ・ 男女共通の下衣タイプはスラックスが最多となり、スカートも含めた「選択制」を望む声が目立ちました。
- ・ メインカラーはネイビー系が最も人気で、次いでブラック系、グレー系が続きました。全体的に明るい有彩色よりも落ち着いたダークカラーの色調が好まれる傾向でした。この結果は、デザイン案の検討に活かします。
- ・ 標準服で優先してほしいことについては、子供たちは着用する立場から「着心地・機能性」を重視していますが、保護者の皆さんは「日常の管理のしやすさ」や「経済的負担の軽減」を重視していることが分かりました。

制服決定までのスケジュール（予定）

R8年9月

制服メーカー選考会
（具体化委員会）

R8年12月～R9年1月

デザイン候補の展示
児童生徒・保護者対象の投票アンケート

R9年2月

デザイン決定
（具体化委員会）



発行者

気仙沼市教育委員会 学校教育課 学校再編推進室

〒988-8502 気仙沼市魚市場前1-1

TEL 0226(22)3441

運動着について

検討の経緯

3月の全体会では、アンケート実施に先立ち、自由化を含めた方向性を協議しました。

委員の意見



- 『 大会等で多くの生徒が集まる機会には、自校を識別できると利点大きい 』
- 『 自由化すると子供がブランド品を求め、経済的負担が増す懸念がある 』
- 『 お下がり活用の活用には統一デザインが有効 』等

これらの意見を踏まえ、**指定品を設けることを決定**しました。一方、制服と同様に市内統一デザインを導入するかどうかについては、アンケート結果をもとに検討することとしました。

アンケート結果の傾向

- ・ 子供たちは「学校ごとに違うデザイン」への支持が約4～5割を占めましたが、「デザインも色も統一」「デザインは同じでライン等の学校識別」「デザインは同じで色変更」の3つを合計すると小学生6割・中学生5割と過半数となり、デザインの統一そのものへの抵抗感は限定的であることがわかりました。
- ・ 保護者の皆さんは、共通デザインをベースに学校を識別する方式への支持が6割を超えており、完全統一への支持は限定的でした。

6月の全体会ではアンケート結果を踏まえ、**デザインは市内統一としつつ、学校ごとに識別できる工夫を設ける方向に決定**しました。識別の具体的な方法や、基本方針・選考方法についてはメーカーへの調査のうえ、7月の全体会にて話し合う予定です。

導入時期は制服と同様に令和10年4月を予定します。

通学鞆（カバン）について

再編計画では当初、通学鞆も標準服に準じて検討する方針としておりましたが、近年の価格上昇を背景に学校指定を廃止し自由選択制に移行した学校もあることを踏まえて検討した結果、**指定品を設けず自由選択制とする方針を決定**しました。なお、現行の指定品も引き続き使用いただけます。選択条件の基準については推進部会において検討中であり、決定次第お知らせします。

校章のデザイン制作方式が決まりました

校章デザインは「**生徒原案・デザイナー制作方式**」で進めることが決定しました。全体会では、「子供たちの意見を大切にしたい」「品質の観点からデザイナーが関わってほしい」との意見を受け、この方式を採用しました。今後は、中学生を対象にオリエンテーションを実施したうえでデザインの原案を募集します。デザイン原案を基にデザイナーチームが仕上げていくため、生徒の思いを汲みながら作っていくプロセスになります。新しい学校への愛着を育み、学びの機会としても大切にしていきたいと考えています。

再編後の部活動の設置種目を推進部会で検討しています

再編後も現在の部活動を極力存続させ、子供たちの活動が継続できるよう充実を図ることを基本的な考えとしています。

現在、小学校5年生から中学校2年生を対象に実施した部活動アンケートの結果を整理し、推進部会で設置種目案を策定しています。再編校間の共通種目を中心に、再編後の教員配置数や加入生徒数の変化も踏まえ、各学校で改めて意向調査を実施したうえで、**10月頃に最終的な部活動の種目を決定する予定**です。

現在検討中の事項については、決定次第お知らせします。
再編具体化委員会の資料やアンケートの結果は、市公式ホームページからご覧ください。



公式HPは
[こちら](#)

